

## 企業行動研究部会議事録（第 294 回）

日時： 2021 年 3 月 15 日 （月） 18：00～20：00

場所： ZOOM 会議室

出席者：岡田佳男、勝田和行、河口洋徳、北川則道、熊本一夫、栗栖徳雄、西藤輝、  
佐久間健、櫻井功男、出口純輔、永井郁敏、野崎篤彦、菱山隆二、平塚直、  
古山英二、堀場政行、松尾實、峰内謙一、向井恒泰  
（順不同 19 名）

### 1. 連絡事項

勝田部会長より、部会の年次報告・決算報告を事務局に提出予定であることが報告され、概要の説明があった。本日はテーマ 2 発表に続いてテーマ 1. で事前案内した今後の部会の進め方及びテーマ発表時期について意見交換を行うこととし、予定のテーマ 3 については 4 月の報告とする旨発表が行われ、早速テーマ 2 について発表が促された。

### 2. テーマ発表

テーマ 2. 社会的責任監査とソーシャル・オーディター

～グローバル・サプライチェーンにおける労働環境と安全～ 櫻井功男 部会員

#### <報告概要>

1. 社会的責任監査とは、工場現場における労働者の人権などの権利保護の状況について調査するもので、労働環境・安全を担保するのに期待されるのが社会的責任監査である。
2. 問題事例 (1)  
途上国の生産拠点での社会的責任監査の問題を周知させたのはバングラデシュのアパレル業界である。安価な労働力によりブランド企業が生産委託をする工場が集中。縫製工場が入ったラナプラザビルが崩壊し 1,134 人が死亡。多くの欧米のブランド企業がこの工場から調達していたこと、工場での CSR 慣行の不備が見過ごされていたことに批判が集まった。
3. 問題事例 (2)  
タズグリーン・ファッションビルで発生した火災では、非常出口は施錠されていて多数の工員が犠牲となる。ブランド企業は監査報告書から供給工場の防火対策の不備を認識していながら、何の対策もせず取引を続けていた。
4. 問題事例 (3)  
パキスタンの工場火災では、ドイツの大手衣料品小売業者が依頼した監査会社が防火対策の不備を見過ごしていた。また工場側が依頼したイタリアの監査会社は、事故の前月に同工場に SA8000 認証を発行し、当該工場に対して「お墨付き」を与えていた。
5. 課題

ソーシャルオーディターはそのサービスに対して責任を負わない。社会的責任監査を委託する側は、安い費用で肯定的な監査報告を欲している。ブランド企業は下請け工場に事故が発生した際に、その取引を正当化する目的で監査報告書を使う。その結果、記録の有無をチェックするだけの形骸化した監査に陥りやすい。

#### 6. Verité の成功事例

マレーシアのエレクトロニクス業界において監査を通じて強制労働を是正したのが Verité である。報告書『マレーシアでの電子製品の生産における強制労働：範囲と特性の包括的研究』の発表を機に、移動制限や雇用手数料の禁止、母国語による労働条件の説明、など多くの改善が見られた。社会的責任監査で得られた情報が強力な機関と結びつくことで大きな変革を起こし得る可能性を示す。

#### 7. Verité の成功要因

##### 要因1 現場主義

多くの場合、監査相手の言語で取材に当たる。調査対象工場の職員、地元 NGO、政府機関、労働組合等への取材を重ねる現場主義が情報の量と質を担保している。

##### 要因2 政治力の活用

米国労働省国際労働局は Verité を信頼情報の提供者として研究を委託する。米国政府との関係があったからこそ業界もマレーシア政府も Verité を無視できなかった。

##### 要因3 バランス（中立性）

企業や業界団体と戦略的関係のバランスを保っている。クライアント企業の機密は保持するなど、業界と規制当局とバランスをとり相互依存を維持している。

#### 8. ミャンマーの輸出型産業での成功

社会的責任監査が労働環境向上に寄与した例はミャンマーでも見られる。監査を受けた企業が多い業界では、より優れた防火設備、健康管理、および労働者と会社の間の交渉ツールを備えている。

#### 9. まとめ

社会的責任監査を機能させるには、(1) ソーシャルオーディターに専門性を発揮させる動機付け、(2) ソーシャルオーディターの中立性の担保と継続的な受注の両立、(3) 先進国のバイヤーの能動的な是正措置、が必要であり国際ルールの策定が望まれる。

#### <質疑・意見交換>

- ・社会的責任監査が始まった経緯と広まった背景は？その概念は 1940 年頃からあったがサプライチェーンのグローバル化と CSR を求める声の増大に伴い注目されてきている。
- ・貧困問題が根底にある。低賃金を理由に製造を委託することがかえって問題を悪化させている面もある。
- ・崩壊事故などでブランド企業やソーシャルオーディターが非難されたが、資本家や政府も責任を負うべき。
- ・法的強制力がない状況で、ソーシャルオーディターは何に依拠して是正措置を促すのか？現状で拘束力がなく、相手国やソーシャルオーディターによっても判断基準が異なる。これが国際的ルール策定の動きの背景となっている。

- ・ バングラデシュ政府の対応は？  
ラナプラザ崩壊事故の後、先進国のブランド企業が同国の縫製工場の安全性確保に動く中、政府は後手を引いた誹りを免れない。欧州系企業を中心とする法的拘束力を持つ ACCORD、米国企業を中心とする法的拘束力を持たない Alliance という 2 つの組織がそれぞれ改善に取り組んだ。活動期限を迎えたが、(政府の対応だけでは不安な) バングラデシュの工場労働者からは「退去せずに活動を続けて欲しい」との声も多い。
- ・ ソーシャルオーディターは法律のみでなく、グローバルな世論を受けて対応することも今後のテーマと言えるかと思う。
- ・ バングラデシュでの (グラミン銀行などの) マイクロファイナンスとの関係は？
- ・ 非営利であるソーシャルオーディターが、実態としてどこまで有効な活動が可能なのか？ ⇒法的にリクワイヤーする方向は出始めているといえる。今後も非営利の形で進むのか、営利でも可能なのかは両方ありうるのか。
- ・ ユーロペリタスは、日本にも法人があり大きな規模で活動をしていると聞く。今後は、ますます重要になってくると感じている。さらにこうした学習を行いたい。
- ・ 低地にあるバングラデシュは洪水被害を受けやすい。去年は国土の 1 / 3 が水没と聞く。気候変動も貧困問題の遠因である。グローバルな取組みが必要。

以下略

#### テーマ 1. 学会への年次活動報告について及び次年度部会実施計画について

勝田部長よりテーマ 1 について報告が行われた。来年度の研究部会の活動予定報告の時期でもあることを踏まえ、各位のご意見を頂きたい。当部会ではその都度発生した事例に基づき研究をしてきた。随時発表の形であったが、これからはなるべく多くの方にご発表を頂きたいので、次回、次々回に年間計画を立てたいのでご協力をお願いする。また、部会としての共通テーマなども提案があれば頂きたい。との発言があり各位に要請が行われた。(次回案内の返信メールに期待)

以上

議事録送付先(敬称略)：

[部会員]：秋山和久 安藤 颯 石川英男 井上真由美 岩倉秀雄 上原利夫 遠藤梨栄  
大泉英隆 大沼久美 岡本伊万里 岡田佳男 小澤彩子 小畑哲哉 片方恵子 勝田和行  
加藤隆一 河口洋徳 川村正彦 北川則道 木下博生 銀山一浩 熊本一夫 熊本えり 栗栖徳雄  
桑山三恵子 剣持 浩 小池裕子 小池恒平 小松久夫 小松昌子 近藤成径 西藤輝 櫻井功男  
佐久間健 柴柳英二 潜道文子 高橋太一 武谷 香 田村尚子 出口純輔 徳山 誠 永井郁敏  
那須一貴 西村秀美 根本三千夫 野崎篤彦 野瀬哲郎 比賀江克之 樋口晴彦 肥後文雄  
菱山隆二 平塚 直 古谷由紀子 古山英二 堀場政行 増澤洋一 増淵隆史 松尾 實  
松本邦明 丸山千賀子 宮澤直幸 峰内謙一 向井恒泰 森田 充 森 敦子 森下和代  
山中 裕 山本明男 中谷仁亮 神野明彦 佐々木恭子

[学会本部]：潜道会長 梅津前会長 水尾前副会長 高橋元会長 内田事務長